

## 「 聖火リレー 中村神社をスタート 」

聖火リレー第二日目、晴天の下、中村神社前からのスタートである。3月26日8時30分、出発前のセレブレーションが始まる。最初、相馬高校太鼓部の勇壮な力強いリズムが社の杜周辺一帯に響き渡った。身体の奥底の細胞にまで音が届くような見事な10分間ほどの演奏だった。

次いで、宇多郷騎馬会の螺役5人が登場、出陣を告げる法螺貝のポーという荘厳な音が響いた。相馬中村神社からの出発に相応しい演出であった。

続いて、立谷相馬市長は、大震災からの復興も含めた力強いあいさつ、更に、福島県市長会長としてオリンピック成功への願いを込めたあいさつも行い、最後に、聖火の希望の灯火を中村一中2年生鈴木さんのトーチに繋いだ。9時、聖火は、19人の小中学生の伴走をも伴い、マスクをした多くの市民の拍手の中、長友グランド真ん中の仕切られた道をゆっくりと動きだした。



福島民報の写真より

出陣を告げる法螺貝（後部で見守る太鼓部）



出発式終了後、ポーズをとる10名（2年生のみ）の太鼓部

（出発式の最良撮影ポイントはメディアの方々に用意されていた。セレブレーション時、会場正面に報道関係者が密になって陣取っていたので、いいショットは撮れなかった）